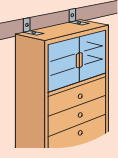
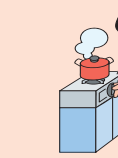
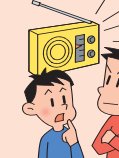


避難所リスト

いざという時、家族がどこへ避難するか決めておきましょう。

NO.	避難所	住所	電話

地震時の心得10ヶ条

1 まず身の安全を!  ケガをしたら火の始末や避難が遅れてしまいます。家具の転倒、落下物には十分な対策を。	2 すばやく火の始末  揺れが収まったらすばやく行動。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。	3 戸を開けて出口の確保  震動でドアが開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。	4 火が出たらすぐ消火  万一出火しても天井に燃え移る前なら、あわてず消火を。	5 あわてて飛び出さない  飛び出しはケガのもと。冷静な判断を。
6 狭い路地やブロック塀には要注意  ブロック塀や自動販売機は転倒の恐れが。すばやく広い場所へ避難を。	7 協力し合って応急救援  地域ぐるみで協力し合って応急救援の体制を。	8 山崩れ、がけ崩れに注意  居住地の自然環境を把握して二次災害防止の心掛けを。	9 避難は徒歩で  マイカーでの避難は危険なうえ緊急出動の障害に。ルールを守る心のゆとりを。	10 正しい情報を聞く  事実はひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動を。

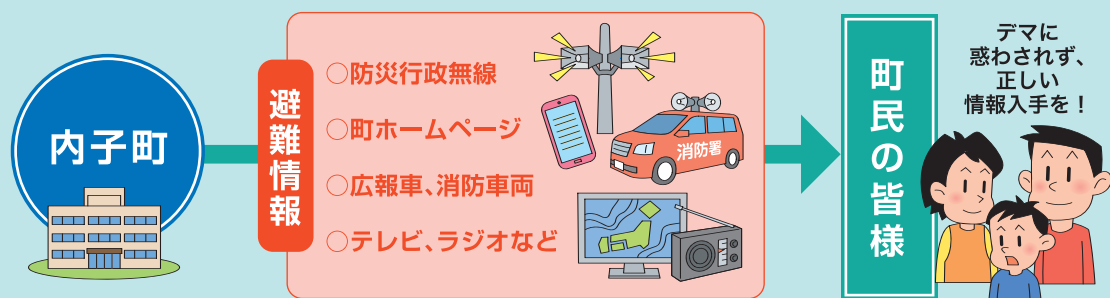
浸水時の避難の注意事項

浸水時に避難する際は、水で足元が見えないことが多いので慎重に歩きましょう。いざという時、どこへの道を通って避難するのか、ふだんから確認しておきましょう。

 非常持出し品は少なくする。	 火の始末、戸締りを忘れずに。	 ゴム長靴は歩きにくい、はきなれた底の硬い靴がよい。	 消防団や役所の指示に従って行動する。
 垂れ下がった電線に触らない。	 家族はロープにつながって避難する。	 水中のマンホールや溝に注意する。	 逃げ遅れたときは丈夫な2階建て以上の建物に避難。
 避難所までの安全なルートを事前に確認しておく。			

情報伝達の流れ

内子町では、災害が発生もしくは発生の恐れがある場合には、右図のように情報を伝達します。大雨の際には、テレビ、ラジオ、インターネットなどで河川の水位情報や雨量、洪水警報などの情報を早くから入手し、早めの避難を心がけましょう。



内子町役場 農林振興課

〒791-3392 愛媛県喜多郡内子町内子1515番地 電話：0893-44-2123

内子町 ため池ハザードマップ

せいしょういけ
清正池

【清正池の諸元】

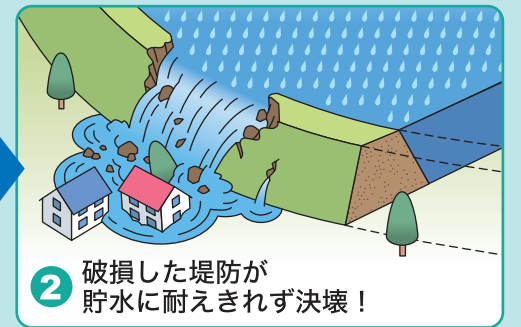
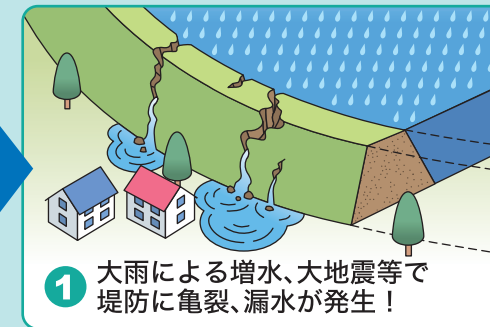
堤高：7.0m

貯水量：7,000m³

大雨や地震のあとはため池の決壊に注意しましょう。

ため池決壊の
起こり方

大地震



気象庁や町からの呼びかけ(避難情報等)に注意しましょう。

〈避難情報等〉			〈防災気象情報〉	
警戒 レベル	状 況	取るべき避難行動	行動を促す情報	
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全 確保※1	
~~~~~〈警戒レベル4までに必ず避難!〉~~~~~				
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難※2	高齢者等 避難	
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認	大雨・洪水・高潮 注意報 (気象庁)	
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への 心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)	

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5相当情報

氾濫発生情報  
大雨特別警報 等

警戒レベル4相当情報

氾濫危険情報  
土砂災害警戒情報 等

警戒レベル3相当情報

氾濫警戒情報  
洪水警報 等

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

（国土交通省・気象庁・都道府県が発表）

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。  
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5相当情報  
 氾濫発生情報  
 大雨特別警報  
 等

警戒レベル4相当情報  
 氾濫危険情報  
 土砂災害警戒情報  
 等

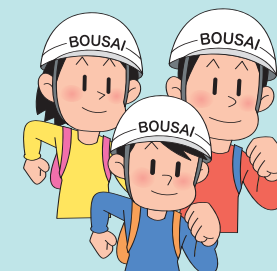
警戒レベル3相当情報  
 氾濫警戒情報  
 洪水警報  
 等

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

(国土交通省・気象庁・都道府県が発表)

ため池決壊の恐れがあるときは速やかに避難しましょう。

台風など豪雨が予想される場合は、事前に避難しておくことが大切です。また、大きな地震があった場合は「ため池が決壊するかもしれない」という意識をもって少しでも安全な場所へ移動するようにしましょう。



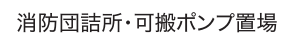
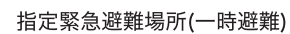
 <b>3m以上の浸水</b> ●2階以上が浸水 ●水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある	<b>安全な場所に避難する</b> ▲時間があり、安全な避難経路が確保されている場合	<b>浸水しない場所</b> ●安全な場所へ移動する ●水平避難
 <b>0.5~3m未満の浸水</b> ●床上浸水、1階全体が浸水 ●水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある		<b>2階以上の建物</b> ●自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる ●垂直避難
 <b>0.5m未満の浸水</b> ●床下浸水 ●大人のヒザ程度 ●浸水の深さがヒザ上になると歩行は危険		<b>自宅にとどまる</b> ●むやみな移動はかえって危険 ●屋内待機



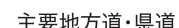
せいしょう いけ  
**清正池**

地域の皆さんでこの地図をご活用  
いただき、豪雨・地震時の安全確保に  
努めてください。

## 災害時の関連施設



## 一 主な道路



### 浸水想定区域

